

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】 特開 2003-267916 (P2003-267916A)

【公開日】 平成 15 年 9 月 25 日 (2003.9.25)

【出願番号】 特願 2002-74835 (P2002-74835)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 7 C 51/42

C 0 7 C 57/07

F 1 6 J 3/04

// F 1 6 L 27/12

【F I】

C 0 7 C 51/42

C 0 7 C 57/07

F 1 6 J 3/04 Z

F 1 6 L 27/12 A

【手続補正書】

【提出日】 平成 17 年 3 月 8 日 (2005.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 特許請求の範囲

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

伸縮可能なベローズ管を有するベローズ型伸縮管継手が設けられた、易重合性物質を取り扱う設備における易重合性物質の重合抑制方法であって、

ベローズ型伸縮管継手として、ベローズ管内部に、ベローズ管の振れを抑える規制部材が設けられていないものを用い、

ベローズ管内部に液状の易重合性物質を流すことを特徴とする易重合性物質取扱設備における易重合性物質の重合抑制方法。

【請求項 2】

ベローズ管内部を流れる液状の易重合性物質の平均流速を、 $0.1 \sim 5 \text{ m/s}$ にすることを特徴とする請求項 1 記載の易重合性物質取扱設備における易重合性物質の重合抑制方法。

【請求項 3】

伸縮可能なベローズ管を有するベローズ型伸縮管継手が設けられた、易重合性物質を取り扱う設備における易重合性物質の重合抑制方法であって、

ベローズ型伸縮管継手として、ベローズ管内部に、ベローズ管の振れを抑える規制部材が設けられていないものを用い、

ベローズ管内部に液状の易重合性物質を流すことを特徴とする易重合性物質取扱設備における易重合性物質の重合抑制方法。

【請求項 4】

ベローズ管内部を流れるガス状の易重合性物質の平均流速を、 $2 \sim 50 \text{ m/s}$ にすることを特徴とする請求項 3 記載の易重合性物質取扱設備における易重合性物質の重合抑制方法。

【請求項 5】

ベローズ型伸縮管継手として、ベローズ管の外側に、ベローズ管の振れを抑える規制部

材が設けられているものを用いることを特徴とする請求項 1 ないし 4 いずれか一項に記載の易重合性物質取扱設備における易重合性物質の重合抑制方法。

【請求項 6】

易重合性物質が、（メタ）アクロレイン、（メタ）アクリル酸および（メタ）アクリル酸エステルからなる群から選ばれる少なくとも 1 種であることを特徴とする請求項 1 ないし 5 いずれか一項に記載の易重合性物質取扱設備における易重合性物質の重合抑制方法。